

平成28年度介護保険サービス事業所 集団指導（居宅介護支援事業所）
平成28年7月20日（水）

コミュニケーション支援の 基礎知識について



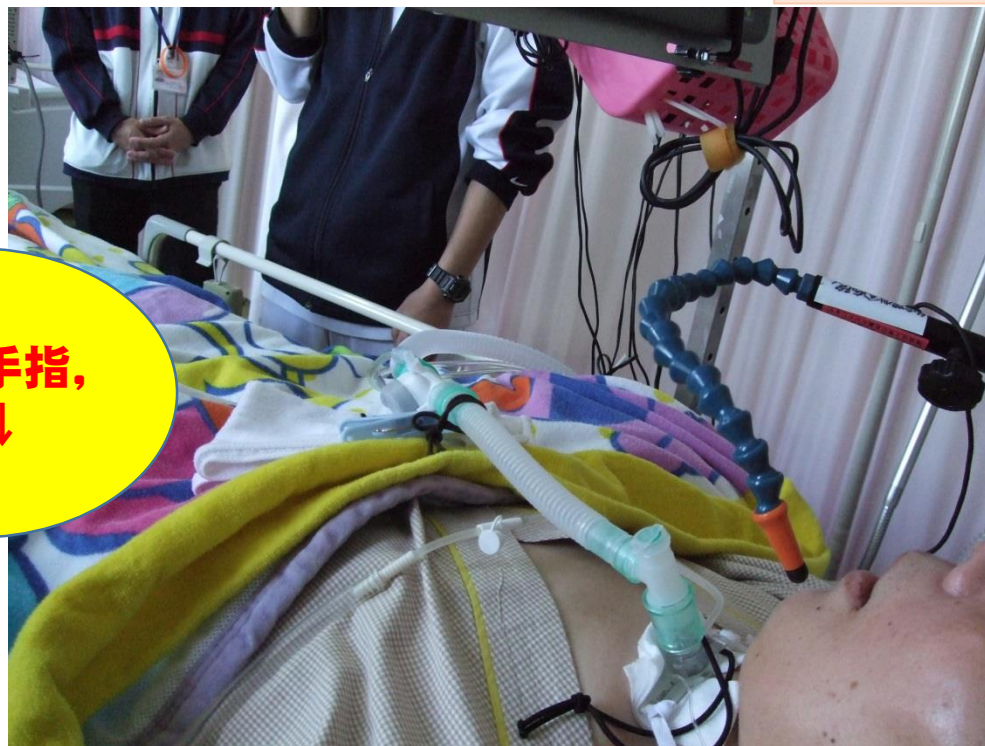
宮城県気仙沼保健福祉事務所 成人・高齢班
技術主査（理学療法士） 栗津 正貴

筋萎縮性側索硬化症 (ALS), 多系統萎縮症をはじめとする, 病状の進行が早い神経難病者とコミュニケーション

話すこと↓



飲み込む
こと↓



上肢, 手指,
下肢↓

呼吸する
こと↓

コミュニケーションの重要性

情報のやりとり，相手に自己の思いを伝えること

- ① 言語コミュニケーション
会話や文字
- ② 非言語コミュニケーション
ジェスチャー，態度，表情，声の大きさやテンポ

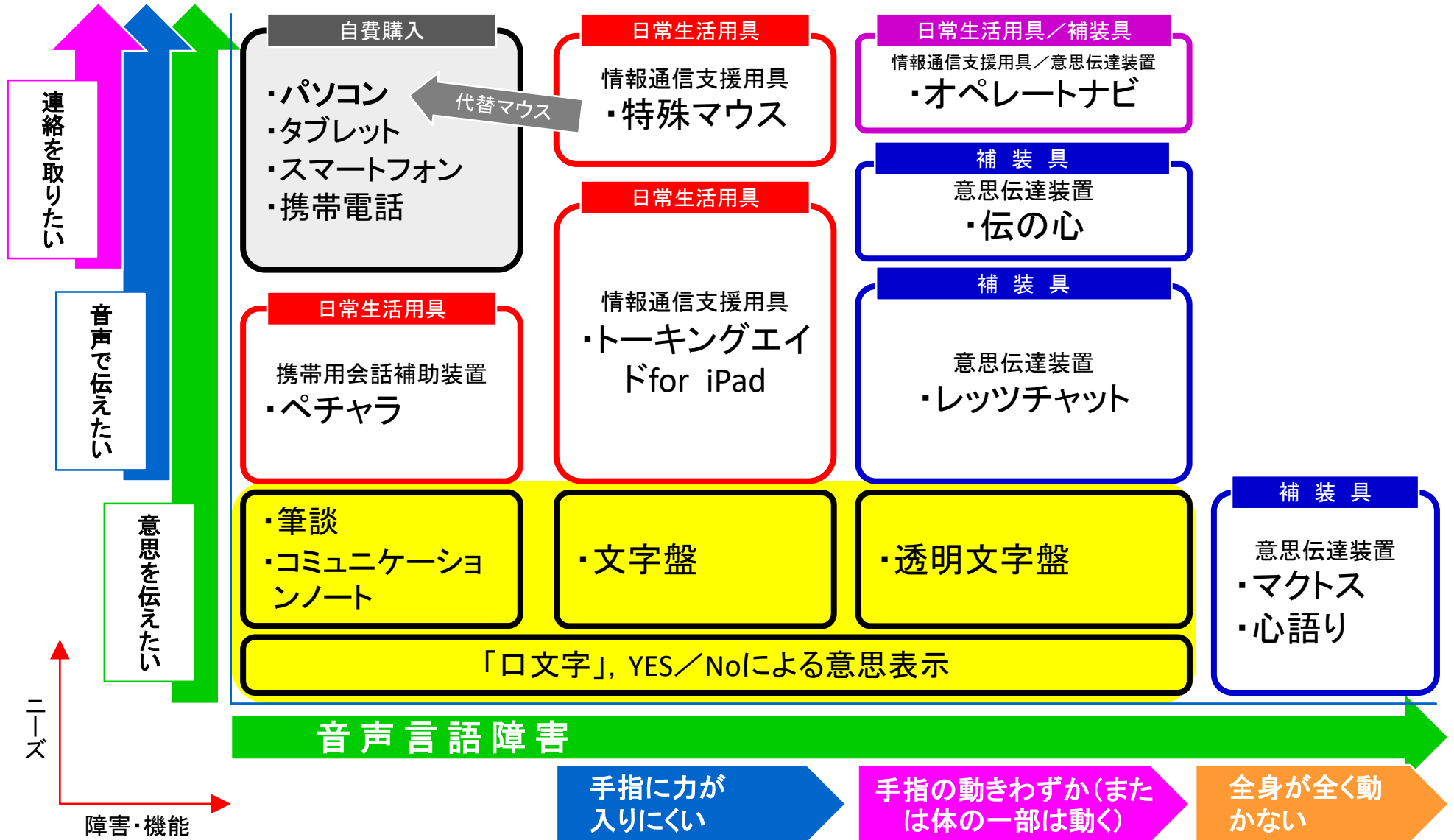
人生（生活）の質の向上にとって，必要不可欠なものです。

コミュニケーション支援の方法

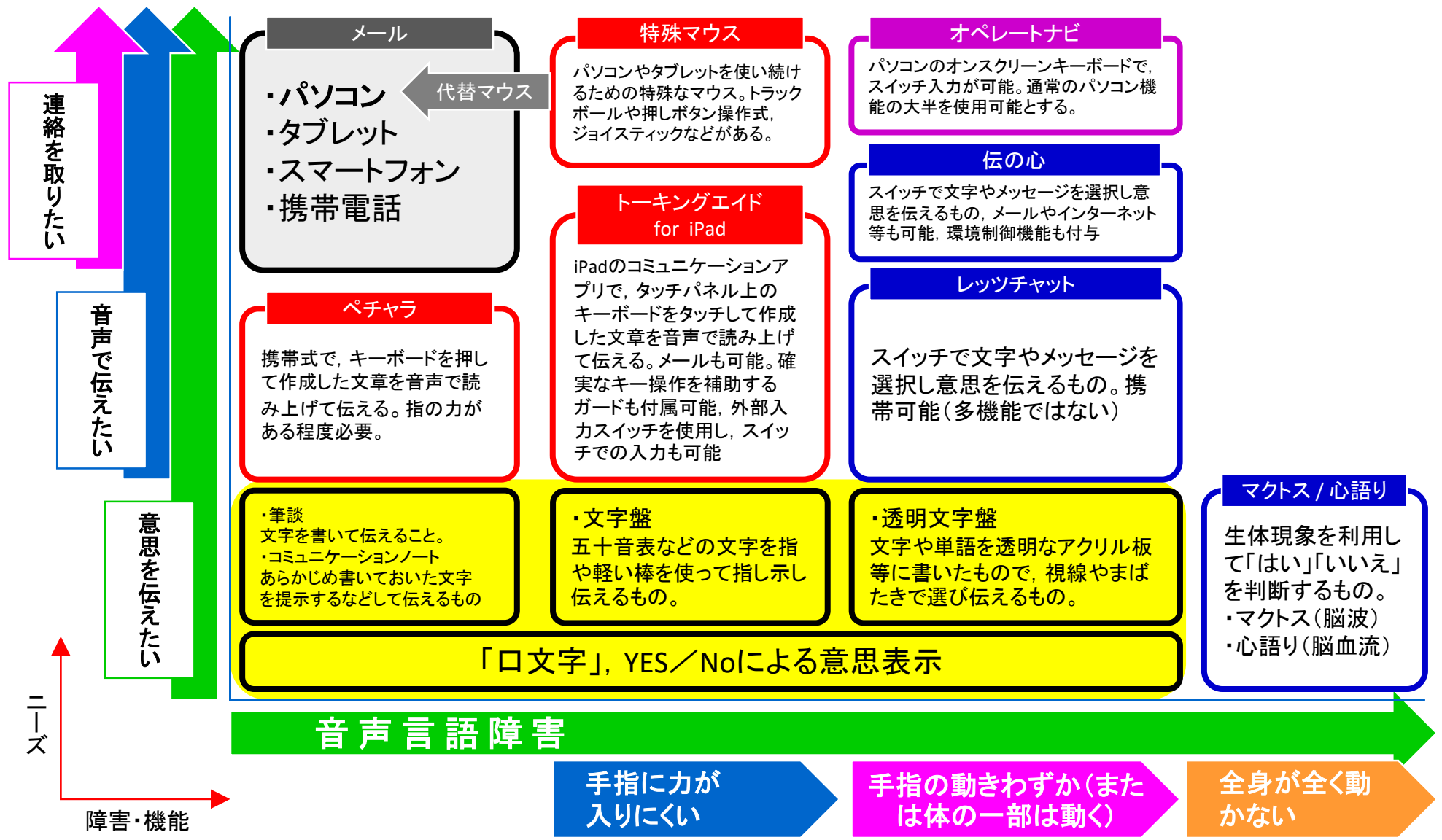
- ・ 音声言語機能障害や四肢麻痺の程度を把握する。
- ・ 誰とどのようなコミュニケーションをどの程度とりた
いかを確認する。
- ・ 最適な手段の選択と習得に向けた支援を考える。

**本人の性格や対応能力， 家族等の協力の可否につ
いて確認していきながら， 習得できる可能性の高いも
のを選定する**

神経難病者の方へのコミュニケーション支援早見表 (制度/名称)

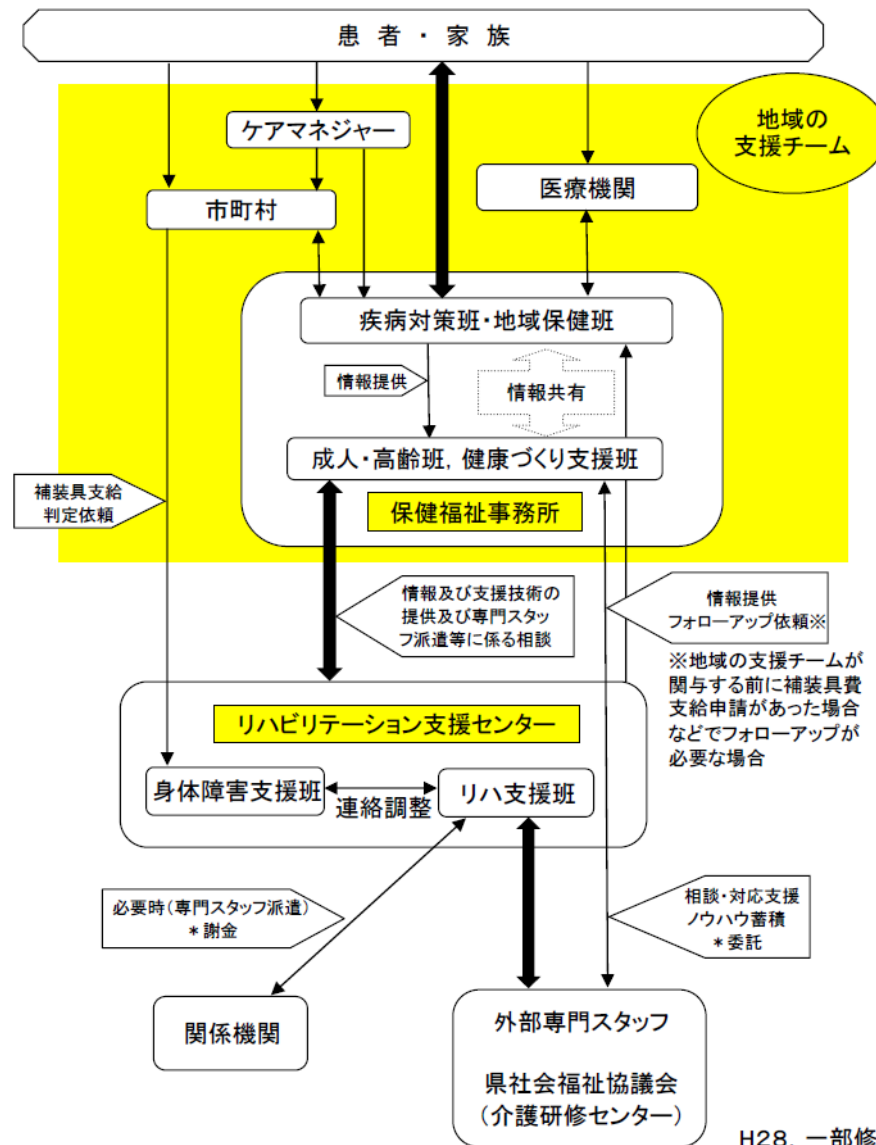


神経難病者の方へのコミュニケーション支援早見表 (名称/特徴)



H24. 4

宮城県のコミュニケーション支援体制（相談の流れ）について



H28. 一部修正

コミュニケーション支援体制の充実に向けて

- ・ 当事者や家族の理解の促進
- ・ 支援者の経験の蓄積

保健福祉事務所，医療機関，居宅介護支援事業所，訪問リハビリ（看護）事業所等とは，コミュニケーション支援に関して，密な連携が必要不可欠である。

最後に

・本日，集団指導終了後に30分間コミュニケーション支援機器の見学と体験を実施